

みなと新潟



新潟港

2026年1月
No.104



(一社) 新潟港振興協会 マスコットキャラクター

みなと坊や エール君

一般社団法人 新潟港振興協会

◇ 令和8年 新年のあいさつ 会長 中 原 八 一	1
◇ クルーズ客船続々と寄港	2
◇ 日本港湾振興団体連合会通常総会	3
◇ 自由民主党港湾議員連盟総会	4
◇ 経済と暮らしを支える港づくり全国大会	5
◇ 第2回新潟港物流基礎講座開催	6
◇ 令和8年度新潟港整備事業促進に関する国土交通省要望	7
◇ 概況品別貿易額推移（2020－2025） ※データ発表次第掲載します。	
◇ 事務局日誌/編集後記	8

新年の挨拶

一般社団法人 新潟港振興協会
会長 新潟市長 中原 八 一



新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

会員の皆さまには、平素から当協会の活動に対し、ご支援・ご協力を賜り、心より御礼を申し上げます。

さて、一昨年の日日に発生した能登半島地震から2年が経過しました。引き続き被災された市民の皆様の声に丁寧に寄り添い、1日も早い復旧・復興の実現に向け全力で取り組むとともに、今後の災害に備えた安心・安全なまちづくりを進めていきます。

昨年の新潟は大きな災害はなかったものの、2月に大寒波が到来し、いわゆる「ドカ雪」に見舞われました。梅雨らしい降雨が少なく、夏場は猛暑日が続く、地球温暖化の影響を身近に実感する一年となりました。

新潟港においては、東港区で洋上風力発電施設整備の「基地港湾」としての機能を整える工事が、2027年度からの利用を目指して着々と進められており、脱炭素に向けた次世代エネルギー拠点としての重要性が高まっています。

一方で、西港区では、港のある万代島エリアを含む「にいがた2km」の推進による賑わいの創出が進められています。

また、昨年のクルーズ客船の寄港は20隻で、コロナ禍前の寄港数を超える数の船が西港と東港に寄港し、多くの乗客が観光に出られたことで、観光スポットは賑わいました。

このように、今後も新潟港の発展に向けた取り組みが推進されていくことから、会員の皆さまには、引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、皆さまのより一層のご活躍とご多幸を祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

クルーズ客船続々と寄港

令和7年10月～11月

会報103号で9月までのクルーズ客船の寄港状況を掲載しましたが、10月以降も続々と寄港しています。冬期の休止期間を経て、令和8年3月22日（日）アザマラ・パシュートの西港への寄港が予定されています。

【クルーズ客船寄港状況】

寄港日	船名	総トン数	定員	接岸
10月12日	ノルウェー جان・スプリット	75,904 トン	2,032 名	東港/中央ふ頭
10月16日	シーボン・クエスト	32,477 トン	458 名	西港/山ノ下ふ頭
10月25日	ノルウェー ジャン・スプリット	75,904 トン	2,032 名	東港/中央ふ頭
10月29日	スペクトラム・オブ・ザ・シーズ	169,379 トン	4,246 名	東港/中央ふ頭
11月 1日	シーボン・クエスト	32,477 トン	458 名	西港/山ノ下ふ頭
11月15日	ダイヤモンド・プリンセス	115,906 トン	2,706 名	東港/中央ふ頭

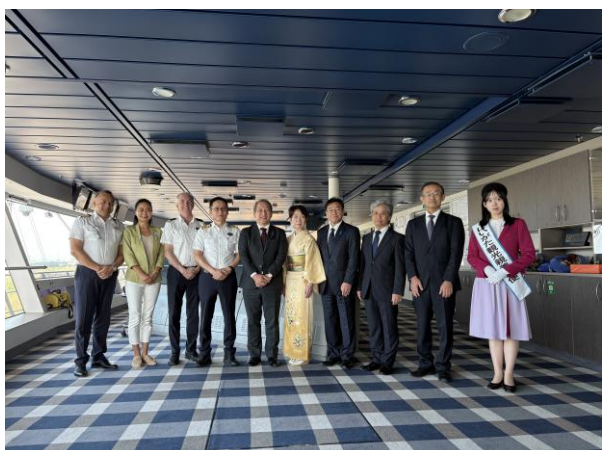
新潟港初寄港のクルーズ船には、盛大に歓迎式典が執り行われました。

【歓迎式典を行ったクルーズ客船】

◆クルーズ船「シーボン・クエスト」（10月16日）



◆クルーズ船「スペクトラム・オブ・ザ・シーズ」（10月29日）



日本港湾振興団体連合会通常総会

令和7年10月2日（木）

北海道釧路市



【中原会長挨拶】

日本港湾振興団体連合会総会が、10月2日（木）北海道釧路市において開催されました。総会に先立ち理事会が開催され、総会において提案する議案の審議が行われました。

その後総会が開催され、冒頭の中原会長挨拶に始まり、栗林釧路港湾振興会会長の歓迎挨拶、森橋国土交通省大臣官房技術参事官による来賓の挨拶と続きました。

総会では、議案「2024年度事業報告及び収支決算」「2025年度事業計画及び収支予算」「役員人事」「次期通常総会の開催地」の審議は全て承認され、次回の通常総会は香川県高松市での開催となりました。

総会終了後引き続き記念講演会が開催され、「釧路の発展は資源と港とともに」と題して釧路市立博物館学芸主幹石川氏、「地域資源としての港湾」と題して北海道文教大学地域創造研究センター長小磯氏から講演を頂きました。

その後行われた交流会では、和やかな雰囲気の中、会員相互の交流が図られました。



【栗林釧路港湾振興会長挨拶】



【森橋官房技術参事官挨拶】

自由民主党港湾議員連盟総会

令和7年10月23日（木）

自由民主党本部701号室



【森山裕 港議連会長 挨拶】

自由民主党の港湾議員連盟総会が、10月23日（木）8時から自由民主党本部において開催されました。

総会では、当連盟の森山会長から「新しい内閣が発足して経済対策の指示が出された。補正予算をしっかりと確保したい。補正予算、来年度予算の確保に向け皆さんの協力をお願いしたい。」等の話がありました。

次に、国土交通省の安部港湾局長から「港湾行政における最近の動向について」の説明が行われました。

当協会の中原会長も港湾関係5団体のひとつである全国の港湾振興の団体で組織する「日本港湾振興団体連合会」の会長として森山会長を始め、議員の皆様へのご支援に対しての謝意を述べた後、「全国津々浦々の港湾が、その地域発展の礎として港の整備・強化を望んでいる。令和8年度港湾関係予算が満額確保されるよう諸先生方の一層のご支援ご指導をお願いしたい。」旨の挨拶を行いました。



【中原八一 日本港湾振興団体
連合会会長 挨拶】

その後、他の港湾関係団体の紹介・挨拶、参加の首長から意見表明と続き、出席の議員との質疑、意見交換等が行われ総会は終了しました。

経済と暮らしを支える港づくり全国大会

令和7年10月23日（木）

砂防会館別館



【中原会長挨拶】

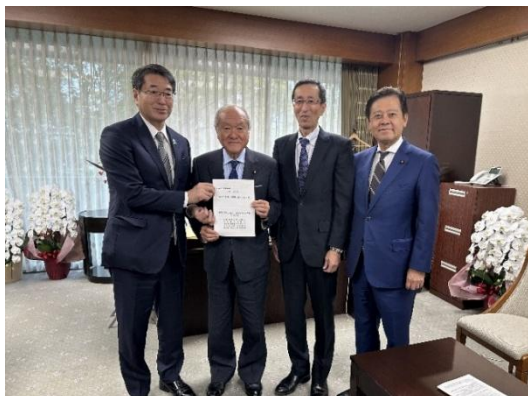
例年、東京で開催しております・日本港湾協会・全国港湾知事協議会・港湾都市協議会・日本港湾振興団体連合会・港湾海岸防災協議会の港湾関係5団体主催「経済と暮らしを支える港づくり全国大会」が昨年10月23日に開催されました。この大会は多くの国会議員や国土交通省の幹部の皆様、港湾所在自治体の首長、関係者が参加する1000人規模の大きな大会です。

主催団体の一つであり全国75の港湾振興団体等が加盟する「日本港湾振興団体連合会」の会長として、当協会中原会長が参加してまいりました。

大会の冒頭、主催者のひとつである公益社団法人日本港湾協会進藤会長の挨拶が行われ、次に団体の一つとして中原会長も挨拶を行い「港湾の整備・振興は重要であり、暮らしと経済を支える基盤づくりには、新年度の予算確保は必要不可欠である。」と訴え、支援・協力をお願いしました。

その後、「持続的な経済成長の実現」「国民の安全・安心の確保」「個性をいかした地域づくりと持続可能で活力ある国づくり」の3つの柱を推進する内容の「港湾の整備・振興に関する要望書」の提案が行われ、全会一致で決議されました。要望書はその場で日本港湾協会進藤会長から国土交通省安部港湾局長にお渡しをしました。

全国大会終了後には、日本港湾協会大協理事長とともに、自由民主党の鈴木幹事長と財務省の山川主計官を訪問、港湾予算確保の要望活動を行い、意見交換も行いました。



【自由民主党 鈴木幹事長要望】



【財務省 山川主計官要望】

第2回新潟港物流基礎講座開催

7月開催の第1回新潟港物流基礎講座に続き、令和7年度の第2回目として貿易業務に携わる企業並びに貿易に関心をお持ちの方々を対象に国際物流に関する基礎知識を提供することを目的に開催しました。

講座は、ジェットロ新潟様からトランプ政権の関税政策の講義や富士運輸株式会社様からは新潟港の基礎知識などの説明をしていただきました。

【講座概要】

日 時 令和7年11月20日（月） 14:00～16:00

場 所 新潟テルサ 2階「特別会議室」

講 演

- ◆「米国トランプ政権の関税政策と日本企業への影響（最新版）」
講師 日本貿易振興機構 新潟貿易情報センター（ジェットロ新潟）
所長 宮尾 正浩 氏
- ◆「新潟港の基礎知識の紹介と官民連携の利用促進を目指す」
講師 富士運輸株式会社 取締役常務執行役員 齋藤 学 氏
参加者 29名

受講者からは、「分かりやすく参考になった。」「新潟港の話、トランプ関税について勉強になった。」など概ね好評でした。

今後続けてほしいという意見も多く頂戴しています。

第3回は令和8年2月12日（木）14時よりWebでの開催を予定しています。

詳しい案内は当協会HPでお知らせしました。参加をお待ちしております。

URL : <https://niigata-port.com/>



講師 宮尾 正浩 氏



講師 齋藤 学 氏

令和 8 年度新潟港（東・西港区） 整備事業促進に関する国土交通省要望

1 日本海側港湾の機能別拠点としての新潟港東港区の機能強化

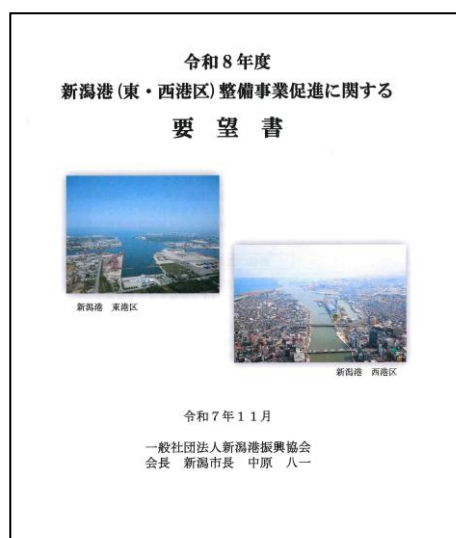
- ① 防波堤（西）の洗掘防止対策
- ② 東西埋立地護岸の老朽化対策
- ③ 海洋再生可能エネルギー発電設備等拠点港湾（基地港湾）の指定に伴う港湾施設整備推進
- ④ 国際海上コンテナターミナルの機能強化（バックアップ港）

2 新潟西港区における港湾機能の維持

- ① 航路浚渫事業
- ② 西港区の新潟みなとトンネルをはじめとする港湾施設の老朽化対策
- ③ 大型化が進むクルーズ客船の受け入れに向けた整備検討

要望先

国土交通大臣、国土交通副大臣、国土交通大臣政務官、国土交通事務次官、技監、
国土交通審議官、大臣官房長、大臣官房技術総括審議官、大臣官房会計課長、
大臣官房参事官、港湾局長、他港湾局幹部 10 名



事務局日誌（令和7年10月～12月）

- | | |
|-------|----------------------------------|
| 10. 2 | 日本港湾振興団体連合会理事会（釧路市） |
| 10. 2 | 日本港湾振興団体連合会総会（釧路市） |
| 10.16 | クルーズ船「シーボン・クエスト」寄港歓迎式典（新潟西港） |
| 10.23 | 自由民主党港湾議員連盟総会（東京） |
| 10.23 | 経済と暮らしを支える港づくり全国大会（東京） |
| 10.23 | 自由民主党及び財務省予算要望活動（東京） |
| 10.29 | クルーズ船「スペクトラム・オブ・シー」寄港歓迎式典（新潟東港） |
| 11. 5 | 新潟県立大学北東アジア研究所産学連携セミナー共催（新潟県立大学） |
| 11.20 | 令和7年度第2回新潟港物流基礎講座（新潟テルサ） |
| 11.26 | 令和8年度新潟港整備促進に係る国土交通省要望 |
| 12.11 | 二水会例会（新潟市） |

編集後記

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお祈りします。

今年は午年。馬と言えば、昨年高市首相は就任早々「馬車馬のように働いていただきます。私自身もワークライフバランスという言葉捨てます。働いて、働いて、働いて、働いて、働いてまいります」と発言し、流行語大賞にもなりました。かつては「馬車馬のように働く」ことが美德とされていましたが、今ではどうでしょう。働き方改革や健康意識の高まりから、時代にそぐわないと感じる人もいるようです。時代の流れを感じます。

このような馬に関する日本の言葉、ことわざは多岐にわたり、「馬の耳に念仏」「人間万事塞翁が馬」「天高く馬肥ゆる秋」「生き馬の目を抜く」など、たくさんありますよね。そのひとつ「人間万事塞翁が馬」のことわざが教えてくれるように、今年はひとつひとつの出来事に対して一喜一憂せず、長い目で物事を捉え、最終的には何らかの意味を持つと理解しつつ過ごせればと思うのですが…。

とにもかくにも、今年一年どんな年となるのか分かりませんが、馬のように元気いっぱい駆け抜けて飛躍の年となるといいですね。

最後に告知です。既に会員の皆様にはご案内していますが、2月12日（木）に第3回新潟港物流基礎講座を開催します。冬季の降雪による交通事情等を考慮してWebでの開催としました。参加をお待ちしています。

今年も会員皆様には「新潟港」が更なる発展を遂げるよう引き続きご支援頂きたくお願い申し上げます。



みなと新潟
NO. 104

発行元 一般社団法人 新潟港振興協会	TEL:025-225-5851	FAX:025-227-3800
〒951-8061 新潟市中央区西堀通3-799 マンション西堀カリア202 令和8年1月発行		
URL https://www.niigata-port.com		